

新規就農者の動向について

【概要】 令和 8 年度新規就農者数 421 人（前年より 16 人増）
昭和 60 年以降で最多 11 年連続で東北一

1 令和 8 年度の新規就農者動向調査結果

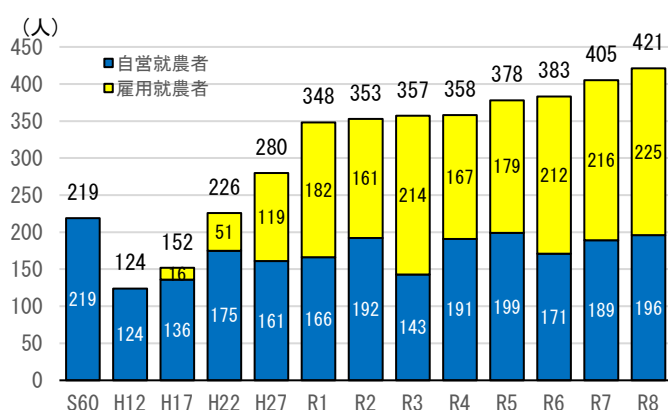
令和 8 年度調査（令和 7 年 6 月から令和 8 年 5 月末までに就農）では、新規就農者は 421 人（前年より 16 人増）となり、調査を開始した昭和 60 年以降で最多となった。また、「第 5 次農林水産業元気創造戦略」における令和 8 年度新規就農者目標数 420 人を超え、東北 6 県では 11 年連続で第 1 位となっている。

本年度は昨年度と比べ、自営就農者が 7 人増加し、雇用就農者は 9 人増加した。特に、雇用就農者数は 225 人、新規参入者数は 254 人（前年より 13 人増）といずれも過去最多となっている。

<主な内訳>

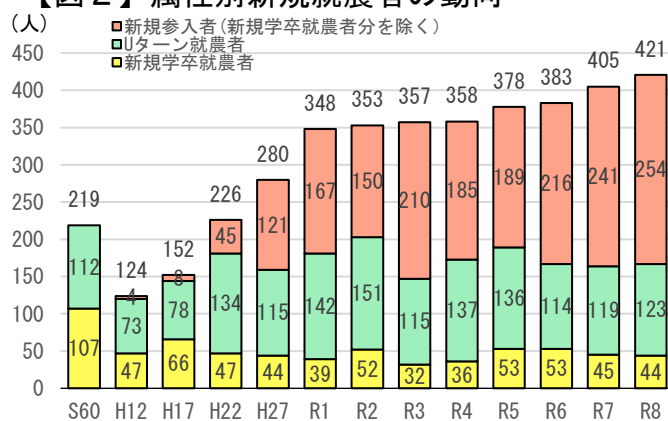
- 新規就農者数 総数 421 人（前年比 16 人増）
- 就農形態別の内訳 自営就農者 196 人（前年比 7 人増） 雇用就農者 225 人（前年比 9 人増）

【図 1】新規就農者の動向調査結果



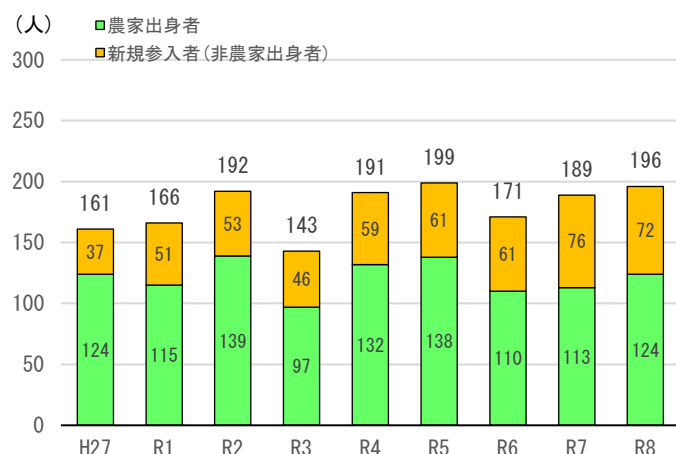
注) 各年 5 月末までの 1 年間の新規就農者で 65 歳未満の者
○ 雇用就農：農業法人等に雇用されて就農した者
○ 自営就農：自ら農業を開始した者及び家族の農業経営に参画し就農した者

【図 2】属性別新規就農者の動向

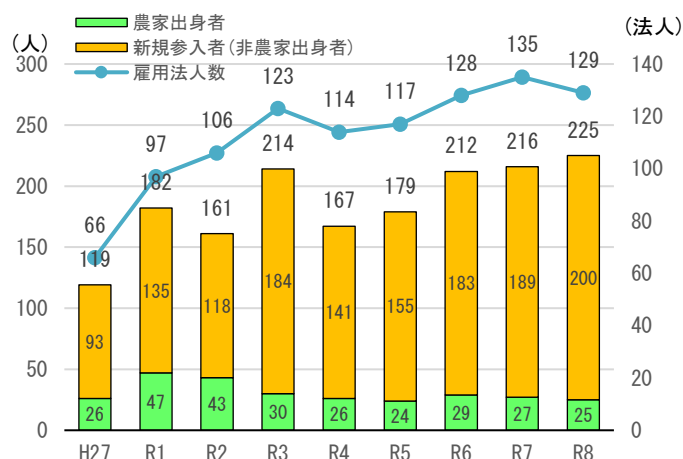


○ 新規参入：非農家出身者で、新たに農地等を取得し就農した者
○ Uターン：農家出身者で、他産業に従事した後就農した者
○ 新規学卒：学校卒業後、就農又は研修を経て就農した者

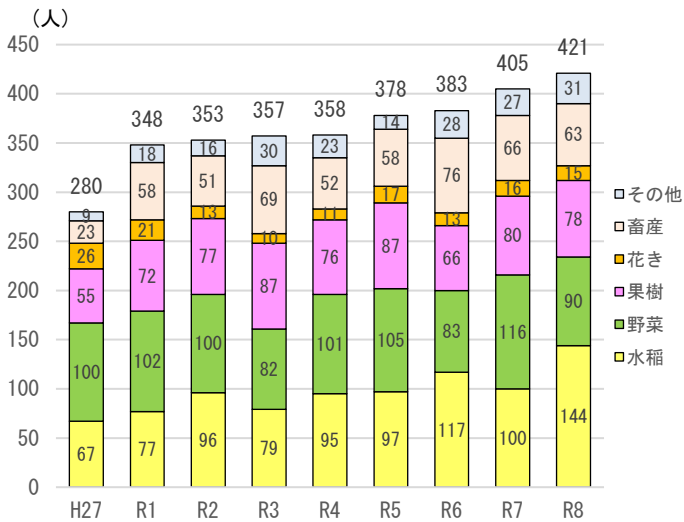
【図 3】自営就農のうち
新規参入者・農家出身者の推移



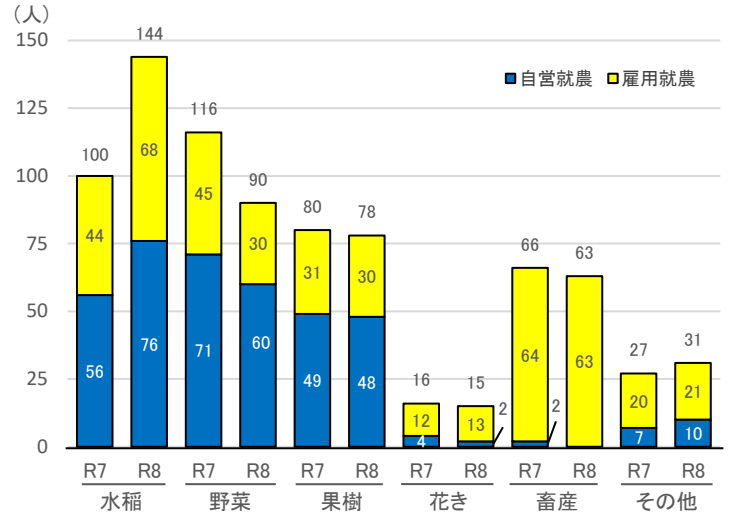
【図 4】雇用就農のうち
新規参入者・農家出身者の推移



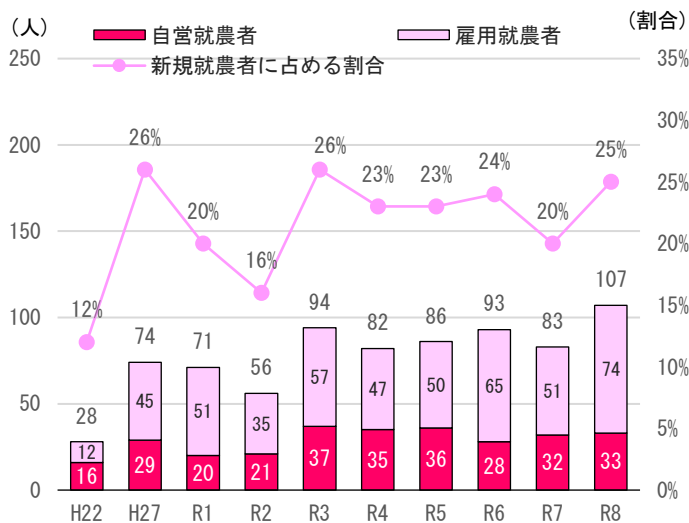
【図5】新規就農者が就農した営農部門



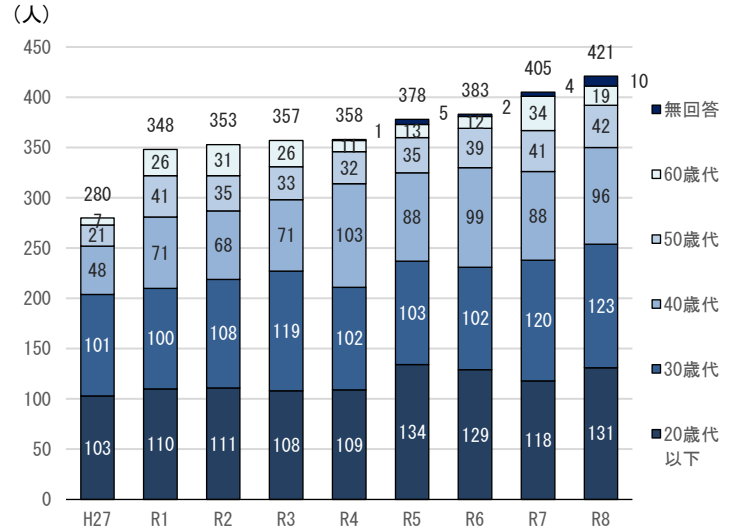
【図6】営農部門ごとの就農形態



【図7】女性就農者の推移



【図8】年齢別新規就農者の動向



2 新規就農者増加の要因分析

- 令和4年度に「山形県農業経営・就農支援センター」を設置し、研修や就農先の紹介、営農プランの策定等についてのワンストップ窓口の開設や農業技術普及課を中心にJA、市町村、関係機関と連携した就農から経営の定着・発展までの一体的なサポート体制の構築など、伴走型支援に取り組んできた結果、新規就農者が増加していると考えられる。
- 特に、新規参入者の増加要因としては、農林水産省の支援事業に加え、県単独事業による就農体験支援や、機械・施設の導入支援に力を入れて取り組んだことが考えられる。
- 営農部門別では、水稻が自営就農・雇用就農ともに増加している。米価の高騰が水稻部門での自営就農の呼び水になったほか、規模拡大を図った稲作経営体が働き手を確保するために雇用就農者を増加させたものと考えられる。

3 今後の推進方策

「山形県農業経営・就農支援センター」を中心として、市町村及び関係団体と連携し、就農希望者の各段階に応じたきめ細かな支援を実施し、更なる新規就農者の確保を目指す。

また、就農希望者のニーズに合わせた初期投資への支援や女性や障がい者、半農半Xなど多様な人材が就農しやすい環境の整備を進め、地域農業の維持・発展を促進していく。